

2026年6月22日

Jトラストグローバル証券株式会社

関係者各位

資産を守りながら、“ダブルインカム”でもう一つの収益を生み出す 国内初の債券担保FX「WEALTH FX」のサービス開始！

JTG証券（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：矢田耕一）は、保有債券を担保にFX取引を行うことで収益機会を拡大できる債券担保FX「WEALTH FX（ウェルスエフエックス）」を、2026年6月22日（月）より開始いたしました。



■富裕層の運用手法をすべての投資家へ

近年の株高・円安の流れを受け、夫婦共働きによる世帯収入の増加やNISA等を使った投資人口の拡大によって新たに富裕層入りする『いつの間にか富裕層』が誕生しています。

米国の富裕層には一般化している保有資産を売却せずに担保として活用する、証券担保ローンや不動産担保ローンを使った資産の再運用の手法が、長引く低金利環境下で日本の富裕層にも広がり、また旧来の資産家にとどまらない、裾野の広い市場へと変化しつつある富裕層をターゲットとした金融機関各社のウェルスマネジメントビジネスへの注力、IFAの伸長などが日本にも見られるようになっていきます。

JTG証券では、富裕層が求める、流動性を確保しながら、資産保全と収益機会を拡大できる新たな運用手法として「WEALTH FX」を開発しました。国内で初めて^(※)国内外の債券を担保として活用し、債券金利に加えて、米ドル円FXのスワップポイントによる“ダブルインカム”を実現するFXサービスです。

比較的投資に積極的な、こうした『いつの間にか富裕層』も、間もなくリタイア期を迎え、資産を手元に残しつつ、新たな収益機会を確保したいという「守りと攻めの」ニーズが高まるものと当社は考えております。これまで一部の富裕層が実践してきた運用手法をすべての投資家にご利用いただける「WEALTH FX」は、新たに富裕層入りした層だけでなく、これからアップーマス層・準富裕層・富裕層入りしようとする方も利用できるサービスとなっております。

(※) 一般社団法人金融先物取引業協会 登録業者一覧掲載の各社HPより当社調べ（2026/5/1時点）

■WEALTH FX の活用例

米国国債および個人向け国債を担保に、FX 取引でも追加運用された場合の活用例をご案内いたします。

なお、当社でご購入いただいた債券だけでなく、他社から移管いただいた債券^(※)も担保に活用することが可能です。

	活用例 1：米国国債の場合	活用例 2：個人向け国債の場合
担保	米国国債：1 億円 (年利率 4.0%)	個人向け国債 固定 5 年：100 万円 (年利率 0.510%)
代用評価	79,900,000 円 (掛目 79.90%)	950,000 円 (掛目 95%)
取引	建玉：1,000,000 米ドル 代用評価に対し、レバレッジ 2 倍	建玉：10,000 米ドル 代用評価に対し、レバレッジ約 1.7 倍
予想収益／利回り [※] <ダブルインカム>	【年間 7,212,000 円】 ①債券金利：4,000,000 円 ②スワップポイント：3,212,000 円	【年間 37,220 円】 ①債券金利：5,100 円 ②スワップポイント：32,120 円
	【年利回り 約 7.21% (税引前)】 ①保有債券：4.0% ②スワップポイント：約 3.21%	【年利回り 約 3.72% (税引前)】 ①保有債券：0.510% ②スワップポイント：約 3.21%
概算ロスカットライン	117.382 円	81 円

(※) 当社が代用有価証券として認めたものに限ります

注意事項

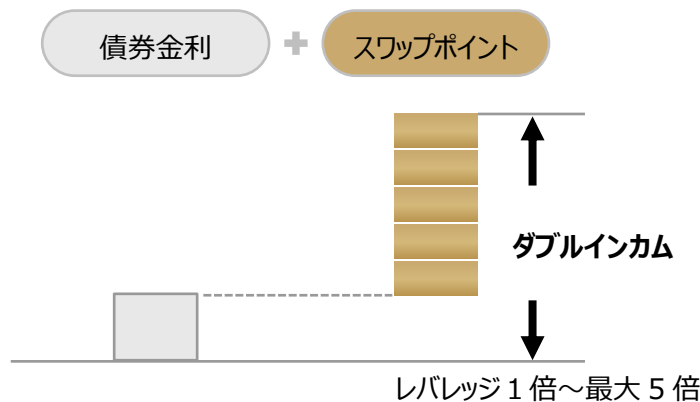
- ・ 上記活用例は、税引き前の概算値となります。実際は為替や金利の動向により計算結果は変動いたします。
- ・ 上記活用例は、レバレッジ 5 倍コース、ロスカットライン 50%、1 米ドル = 160 円、スワップポイントは 1 万通貨あたり 1 日 88 円が変動しない前提で試算したものです。
- ・ 上記活用例は、あくまでもスワップポイントの受取りのイメージを例示したものであり、為替変動による FX 建玉に生じる評価損益および担保債券の単価（評価損益）は考慮しておりません。実際には、為替変動および金利変動等の影響を受けて、FX 建玉および担保債券の評価額は日々変動し、損失が生じる恐れがあります。
- ・ 上記活用例は、あくまでも一定の前提条件に基づく試算であり、実際の収益を示唆または保証するものではありません。また、スワップポイントは債券の利金とは異なり将来にわたり支払いが保証されるものではなく、相場状況により受取額が変動し、または支払となる場合があります。
- ・ レバレッジを高める程、受け取れるスワップポイントは高くなりますが、FX 取引はお客様の差し入れた証拠金の額に比して取引金額が大きいため、その損失の額が差し入れた預託証拠金の額を上回る可能性があり、当社はレバレッジ 3 倍までを推奨しております。

■WEALTH FX について

「WEALTH FX」は、短期的な為替差益を狙う従来型の FX の利用形態とは異なり、保有資産を活用した“ダブルインカム”により、中長期の収益積み上げを実現する FX サービスです。ウェルスマネジメント領域で活用が進む担保ローンと同様に、安定した債券を担保として活用することができます。さらに、株式などと比較して値動きが小さい為替で追加運用を行うことで、ダブルインカム効果により、資産家が実践してきた資産活用手法を、より多くの投資家に取り入れられる設計となっています。

また、「WEALTH FX」は、最大レバレッジを 5 倍（個人の場合）に抑えた設計とし、ロスカットラインの設定を含め、相場変動に対する一定の耐性を考慮した仕組みとしています。短期的な動きに依存しない、中長期での資産運用を前提とした利用が可能となります。

「WEALTH FX」を利用したダブルインカム実現イメージ



■サービス概要（2026 年 6 月 22 日時点）

サービス名称	WEALTH FX	
口座対象者	個人及び法人（ただし、JTG 証券総合口座の所有者に限る）	
通貨ペア	USD/JPY	
取引ロット	10,000 通貨	
レバレッジ	個人：レバレッジ 1 倍、3 倍、5 倍の 3 コース（顧客選択可能） 法人：金融先物取引業協会算出の為替リスク想定比率を準用 なお、発注時に、為替リスク想定比率を準用したレバレッジに 10 を除する値の範囲内で注文を制限。	
ロスカットライン	個人：維持率 50%～90%（顧客の任意で設定可能） 法人：維持率 100%	
手数料	無料	
証拠金の種類 および掛目	日本円（現金）	100%
	円建国債（個人向け）	95%
	円建社債	90%
	米ドル（現金）	94%
	米国国債	79.9%

	米ドル建債（シニア）	75.2%
	米ドル建債（劣後）	65.8%
	※証拠金の掛目は変更となる場合があります。 ※個人向け国債は受渡完了後、1年経過したものに限り。 ※債券は BBB-以上。	
決済通貨	日本円（証拠金は円換算し、また FX 取引から発生する損益・スワップポイントは円での決済となります）	
取引時間	月曜日 AM7:00～土曜日 AM5:30 ※冬時間は～土曜日 AM6:30 ※メンテナンス時間は除く	
提供方法	WEB（PC 版）、WEB（スマホ版） ※担当者による代用有価証券振替や代行注文サポートあり	
カバー先	SBI リクイディティ・マーケット株式会社	
FX システム	ホワイトラベル（SBI リクイディティ・マーケット株式会社）	

WEALTH FX ホームページ：<https://www.jtg-sec.co.jp/fx.htm>

■今後のビジネス展開

JTG 証券は、国内外で拡大する富裕層マーケットを重要な成長機会と捉え、プライベートバンキングサービスの一層の拡充に注力してまいりました。新たに提供を開始する「WEALTH FX」は、富裕層のお客さまが抱える高度な資産運用ニーズに応えるべく設計されたサービスであり、当社の中核商品のひとつとして積極的に展開してまいります。

「WEALTH FX」では、サービス開始から 1 年目で証拠金残高 100 億円の獲得を目標とし、中長期的には 1,000 億円までの拡大を見込んでおります。これらの目標達成に向けて、専任のプライベートバンカーによるきめ細かなフォローアップなど、サービス体制の更なる強化を進めてまいります。JTG 証券は、富裕層のお客さまに寄り添った最適な資産運用ソリューションを提供し、持続的な成長を実現してまいります。

■JTG 証券について

JTG 証券は、創業から 60 年を超え、2022 年には J トラスト株式会社（東証スタンダード上場 証券コード：8508）グループの一員として新体制でリスタートした、歴史と革新が共存する証券会社です。

「お客さまをはじめとするすべてのステークホルダーから信頼され、金融機関として持続的に社会に貢献できる会社を目指す」という理念のもと、外部環境がどのように変化してもその変化に適切に対応し、既成概念にとらわれない質の高いサービスと革新的なアプローチを通じて、お客さまへ新しい付加価値を提供することを使命としています。

「海外投資の JTG 証券」「スタートアップ企業を応援する JTG 証券」「ウェルスマネジメントの JTG 証券」という 3 つのコア領域において付加価値創造に取り組んでまいります。

■お取引にあたってのご留意事項

手数料など諸費用について

当社で行う店頭外国為替証拠金取引（WEALTH FX）の取引手数料は無料です。ただし、当社が提示する価格（買値と売値の差である「スプレッド」）はお客さまの実質的なコストとなります。スプレッドは固定ではなく、市場環境等により拡大する場合があります。また、建玉を翌営業日に繰り越す場合、通貨ペアの金利差に基づくスワップポイントの受払が発生します。（但し、建玉を決済するか「スワップポイント振替」（詳しくは、巻末の用語集をご参照ください。）を行うまでは、「未決済スワップポイント」として付与・蓄積されます。以下同じ。）スワップポイントは市場金利の変動により日々変動し、受取となる場合も支払となる場合もあります。

店頭外国為替証拠金取引のリスクについて

<価格変動リスク>

- ・通貨の価格の変動により、損失が生じることがあります。更に、お客さまの差し入れた証拠金（以下「預託証拠金」といいます）の額に比して取引金額が大きいため、その損失の額が差し入れた預託証拠金の額を上回る可能性があります。
- ・お預りしている預託証拠金の額を超える損失が発生しないようロスカット・ルールを設けておりますが、相場の急激な変動により預託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

<信用リスク>

- ・店頭外国為替証拠金取引は当社とお客さまの相対取引であり、また、当社はお客さまとの取引から生じるリスクの減少を目的として下記のカバー取引先とカバー取引を行っております。したがって、お客さまは当社、およびカバー取引先の業務、または財産の状況が悪化した場合には損失を被るおそれがあります。

<その他のリスク>

- ・本取引における為替レートは、カバー取引先が算出する為替レートに基づいて、一定の額を加減した為替レートをお客さまに提示しています。為替レートの売値と買値には価格差（スプレッド）があり、マーケットの状況によりスプレッド幅が拡大する場合があります。意図した取引ができない可能性があります。
- ・取引システム、または金融商品取引業者、およびお客さまを結ぶ通信回線等が正常に作動しないことにより、為替レートの提示、注文の発注、執行、確認、取消しなどが行えない可能性があります。
- ・本取引においては、主要国の祝日や、市場のクローズ間際、週初など流動性が低下したマーケットの状況によっては、為替レートの提示や注文の成立が困難になることがあります。
- ・天災地変、戦争、テロ、政変、同盟罷業、外貨事情の急変、外国為替市場の閉鎖など、特殊な状況下で特定の通貨の取引が困難または不可能となる場合があります。
- ・マーケットの状況または当社カバー取引先等の状況により、一時的に取引条件を変更、制限する場合があります。
- ・店頭外国為替証拠金取引では、売り建てしている通貨と買い建てしている通貨に対し、スワップポイントの受払が発生します。スワップポイントは取引対象通貨の市場金利等に応じて日々変動するため、スワップポイントもその影響を受け変動します。また、市場金利等の動向次第では、スワップポイントが受取りから支払いに転じる可能性もあり、損失が生じるおそれがあります。
- ・成行注文、およびストリーミング注文では、お客さまの注文が当社のサーバーに到達した時点で受付となります。このた

め、お客さまが注文を発注した時の為替レートと実際の約定為替レートがタイムラグにより異なる場合（スリッページ）があります。逆指値注文では、当社の配信レートが買付ならお客さまの指示した為替レート以上、売付なら指示した為替レート以下になった時点をもって、即時に注文が執行され、条件を満たした時点での配信レートで約定を保証します。お客さまが指示した為替レートと条件を満たした時点の配信レートによっては、お客さまの指示した為替レートとお客さまの実際の約定為替レートが異なる場合（スリッページ）があります。

・為替レートの提示が停止し、その後、停止した理由が解消した場合には、外国為替市場の実勢レートの状況を確認した上で、為替レートの配信を再開します。再開した時点の為替レートによっては、ロスカットが生ずるおそれがあります。また、相場の急激な変動により預託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

<カバー取引先、および預託証拠金の管理方法について>

・当社のカバー取引先は、SBI リクイディティ・マーケット株式会社（業務内容：リクイディティプロバイダー）です。また、SBIリクイディティ・マーケット株式会社は当社からのカバー取引に対し、外国為替取引金融機関をカバー取引の相手方としております。

・お客様の注文が約定すると同時に、マリー取引を行わずに全ての注文をシステムによる自動発注にて SBI リクイディティ・マーケット株式会社を相手方としてカバー取引を行っています。

・SBI リクイディティ・マーケット株式会社にてカバー取引が行えない場合、お客さまの取引により当社に損失が生じる場合があります。またその間の相場変動によって当社の損失が拡大することにより財務状況が変化してお客さまの取引が継続できなくなるおそれがあります。

・お客さまから預託を受けた証拠金は、金融商品取引法の規定に基づき、現金証拠金については、SBI クリアリング信託へ金銭信託を行う方法により、当社の自己資金とは区分して管理しております。証拠金の区分管理必要額については、お客さまから預託を受けた証拠金に、実現損益、評価損益、およびスワップ損益を加算した額とし、毎営業日を計算基準日として確定したうえで、追加差入れが必要な場合には、計算基準日の翌日から起算して 2 営業日以内に SBI クリアリング信託に追加信託することにより、区分管理必要額以上の残高を維持いたします。

なお、代用有価証券についても金融商品取引法その他の法令諸規則に基づき、当社の資産とは明確に区分して管理しております。

お客さまからお預りした代用有価証券（日本国債、円建債券、米国国債、米ドル建債券等）は、日本銀行、証券保管振替機構または外国の保管機関等を通じて分別管理のうえ保管いたします。

・当社、およびお客さま資金の預託先の業務、または財産の状況が悪化した場合、証拠金その他のお客さま資金の返還が困難になることで、損失が生じるおそれがあります。

<代用有価証券のリスク>

・証拠金としてご利用いただく代用有価証券には、以下のリスクがあることをご理解ください。

1. 価格変動リスク

市場価格が下落した場合、有効証拠金（預託証拠金の額に未決済建玉に係る評価損益と未決済スワップポイントを加算または減算した額で、実際に取引に利用可能な証拠金の額を言います。以下同じ。）の額が減少します。

2. 為替変動リスク

外貨建て有価証券は為替相場の変動により評価額が変動します。

3. 受入停止リスク

市場の急変等により、当社が特定銘柄の受入を停止または掛目を変更する場合があります。

4.処分リスク

お客さまが債務不履行となった場合、代用有価証券は当社により処分され、返還されない場合があります。

<外貨建資産を代用有価証券とした取引に係る為替変動リスク>

・米ドル建て資産（米ドル建て債券等）を代用有価証券として差し入れたうえで、米ドル／円（USD/JPY）の買建取引を行う場合、円高（米ドル安）局面において代用有価証券の円換算評価額および建玉評価額の双方が同時に下落し、証拠金維持率が急速に低下するリスクがあることから、同一通貨建て資産を担保とする取引は為替変動リスクが増幅する可能性があります。

以上

<この件についてのお問い合わせ>

Jトラストグローバル証券株式会社 総務部

電話番号 03-4560-0212

メールアドレス keiei_support@ma.jtg-sec.co.jp

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 35 号

貸金業者登録番号 東京都知事(2)第 31946 号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人資産運用業協会、日本貸金業協会会員 第 006278 号